



そうふう
爽風

発行者：校長 下地美和子

学校教育目標

創造性にあふれた 心豊かでたくましく 生きる児童の育成

目指す児童像

- ・自ら学び考える子・思いやりのある子・健康でねばり強い子
- ・当たり前のことを一生懸命にやる子（凡事徹底）



自然・仲間！～5年生集団宿泊学習

6月15日・16日は、宮古青少年の家にて、5年生による集団宿泊学習がありました。スローガン「自然と仲間とふれあおう！～みんなで絆を深め、最後まであきらめない～」の元、37名みんなで様々な体験活動を行ってきました。

台風と梅雨の影響で心配された雨もなく、シーカヤックも予定通り実施、乗る順番を待ちながら、ビーチクリーンも行いました。ウォークラリーで自然を満喫し、野外炊飯ではカレー作り。グループで食材にもこだわりおいしいカレーができました。恒例の夜間ハイク、焼き杉クラフト、サイクリングなどを体験しました。友情を深め、みんなでいろいろなことに挑戦し、達成感を感じた集団宿泊学習となりました。先生方お疲れ様でした。青少年の家の皆様方、そしてシーカヤック体験や夜間ハイクでの保護者の皆様方のご協力、本当にありがとうございました。



修学旅行IN沖縄本島～6年生

6年生45名は、6月20日・21日・22日の3日間、沖縄本島へ修学旅行へ行ってきました。初日は、平和学習をメインに、平和の礎、平和記念堂や平和資料館、ひめゆりの塔・平和記念資料館等を訪ねました。ひめゆり資料館では、10代の地元、下地出身の上地一子さんの写真を見つけました。平和記念公園では、6月23日の慰霊の日に向けて、会場づくりが行われていました。平和の礎で、刻まれた名前を見て「多分、自分たちの親戚の人だと思う」という子もいました。沖縄の4人に1人がなくなったとされる沖縄戦、二度と恐ろしい戦争が行われないよう、平和の世の中が続くようにと、摩文仁の丘に立ち、手を合わせてきました。その後、沖縄ワールドで鍾乳洞の見学と体験活動を行い、沖縄の自然と文化に触れてきました。





2日目は、広大な嘉手納基地が望める道の駅「嘉手納」へ。その後「沖縄子供の国」や「美ら海水族館」を見学しました。炎天下での活動で多少大変でしたが、子供達は最後まで頑張って歩き、たくさんの動物や大水槽のジンベエザメやマンタなどを見て、楽しく過ごしました。イルカの「オキちゃん



ショー」では、高くジャンプするイルカたちに拍手大喝采でした。

3日目は、首里城跡見学、焼け落ちた首里城に胸を痛めましたが、3年後には、復活すること。「中学3年には見に行きたいね。」と話していました。その後、アイススケート体験、午後からは、国際通り散策、ショッピングをしました。午後の活動では、昼食も含めて、自分たちの行って



みたい店を事前に調べ、モノレールに乗ってジャスコで集合という自分たちで計画を立て活動する自主的な時間となりました。グループによって行く店などが異なり、グループの個性がよく出た活動となりました。

今回、晴天に恵まれた3日間となり、熱中症も気になるころでしたが、ホテル等での水補給の充実もあり、安心して過ごすことができました。ホテルでのおいしいバイキングの食事に舌鼓を打ち、夜のレク大会では、みんなに楽しんでもらおうとグループでダンスやクイズ、寸劇などを出し合いました。また、足を痛めスケートができなくなった友達に楽しんでもらおうと、スケート用の椅子を押してあげる子ども達もいました。友達と交流を深めた3日間、元気いっぱい過ごしました。この修学旅行で学んだことや気づいたことを振り返り、お世話になった方々への感謝を忘れず、今後の生活に活かしてほしいと思います。

